

授業評価 2015 (後期) T1Q: 工学部機械工学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.80(2016-02-13) by Yas

2015 年度後期 工学部機械工学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1Q019001	解析力学	2 年後期火曜 2 限	坪田 健一	T1Q 1
T1Q022001	流体力学 I	2 年後期月曜 3 限	三神 史彦	T1Q 2
T1Q039001	機械設計製図	3 年後期水曜 4,5 限	森田 昇他	T1Q 3
T1Q056001	エンジニアリングデザイン	3 年後期月曜 4,5 限	各教員他	T1Q 4

授業科目名	: 解析力学
担当教員	: 坪田 健一
年次・開講時限	: 2 年後期火曜 2 限
授業コード	: T1Q019001
授業アンケート	: 回答者数 66 人 / 受講者数 106 人 (回収率 62%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 65 件)

講義中に行う演習問題を積極的に自ら解いていくことが、本科目の理解と活用をするための最大のポイントと考えます。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

教科書を用いて講義を進めているため、予習、復習を容易に行うことが可能です。この点をしっかり行えば、習熟度が格段に向上して好成績にも繋がる傾向が強いです。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 坪田健一

授業科目名	: 流体力学 I
担当教員	: 三神 史彦
年次・開講時限	: 2 年後期月曜 3 限
授業コード	: T1Q022001
授業アンケート	: 回答者数 65 人 / 受講者数 109 人 (回収率 60%)

### 1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q12. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか? (回答 64 件)

アンケート回答者の 90.6%が全回出席, 残りの 9.4%が 4/5 程度出席という結果だった. 回収率 60%のため, 授業によく出席した人の意見が回答内容に色濃く現れていると見るべきだろう.

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 63 件)

教科書を使用しているが, 「はい」が 76.2%, 「ややそういえる」が 20.6%だった. 96.8%が肯定的な意見であることから, 現在使用している教科書のレベルや内容は適当と考えられる.

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 63 件)

「はい」が 33.3%, 「ややそういえる」が 49.2%, 「どちらともいえない」が 15.9%, 「あまりそういえない」が 1%だった. 「はい」と答えた人の割合が少ないが, 流体の力学をよく理解するためには, 授業に出るだけでなく, 受講生の努力も必要である.

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 64 件)

「4 時間以上」が 3.1%, 「3 ~ 4 時間」が 1.6%, 「2 ~ 3 時間」が 6.2%, 「1 ~ 2 時間」が 42.2%, 「1 時間未満」が 46.9%だった. 「1 時間未満」の学生が半数近くいるが, 授業内容をよく理解できたと思えるためには, 毎回の授業で出て来た新しい概念を, これまでに学んだ概念と照らし合わせて理解していく時間が必要である.

Q29. この授業で良かった点について記入してください. (回答 14 件)

「スライドがわかりやすかった」という意見が多数あった. 噛み砕いて説明するよう努力している結果だと思われる.

### 2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業の内容すなわち流体の力学をよく理解したと思えた学生が, 「はい」と「ややそういえる」を合わせれば 82.5%であるが, 「ややそういえる」と回答した学生が半数近い. 流体の関わる現象や専門的な取り扱い方を理解するためには, 学生自身の努力も必要である. 期末試験の第 2 問に出した鉛直方向に密度変化する液体の圧力分布を求める問題では, 本質を理解して微分方程式を使って解いた学生は半数程度で, その他は密度一定の流体の場合の結果を使った誤った回答だった. この例が示すように, 本質を理解しようとする学生の努力が足りないように思われる.

### 3. その他のコメントや連絡事項

次年度は, 木曜 2 限の開講となります.

作成(者): 三神 史彦

授業科目名	: 機械設計製図
担当教員	: 森田 昇, 比田井 洋史, 松坂 壮太
年次・開講時限	: 3 年後期水曜 4,5 限
授業コード	: T1Q039001
授業アンケート	: 回答者数 25 人 / 受講者数 36 人 (回収率 69%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 21 件)  
4 時間以上が 29%, 1 時間未満 20%と大きくばらついている.  
手を抜いていると推定されるので, 厳しく対処したい.

2. 授業アンケート全体に対するコメント

総じて, 評価は高いようである. 成績の平均点が高い授業ではアンケート結果が良くという分析を聞いたことがあるため, もっと厳しくした方が良いか検討する.

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 比田井洋史

授業科目名	: エンジニアリングデザイン (旧名称「デザイン工学」)
担当教員	: 各教員, 小波 盛佳
年次・開講時限	: 3 年後期月曜 4,5 限
授業コード	: T1Q056001
授業アンケート	: 回答者数 53 人 / 受講者数 82 人 (回収率 65%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 49 件)

今年度は、珍しく、学生がシラバスを読んでいると思った。

Q24. 内容に見合った十分な実験・実習時間が確保されていましたか？(回答 32 件)

この項目については、他の項目に比べて、「はい」の回答が少なかった。授業開始当初から、計画的に遂行しないと、時間が足りなくなることは、十分に説明していた。それを聞いていなかったとしか、言いようがない。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

通年の授業にして欲しい旨の要望があった。このような製作は、大学に入学する前に、各自が経験しておくべき事項と考えている。最近、このような製作を径線することなく、大学に入学する学生が多くなった。本来は、大学入学前に経験すべき製作を、大学 3 年生の授業で行うことの是非もあることを記しておく。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 中本剛